

淀川を知る本

枚方八景の一つに「淀川の四季」があります。淀川は古くから歴史や文化をはぐくんできました。また、川は子どもにとって遊びの場であり、自然豊かでさまざまな生き物とふれあえる場です。一方、過去には大きな水害が何度もありました。親しみがあるけれど、まだまだ知らないことがたくさんある「淀川」についての資料を紹介します。

1. 淀川の歴史

『淀川ものがたり』 淀川ガイドブック編集委員会：編 廣濟堂出版：発行 2007年
(H517.216)

古代から現代まで、淀川の治水や舟運などの歴史をたどります。

『淀川往来』 上方史蹟散策の会：編 向陽書房：発行 1984年 (H291.6)

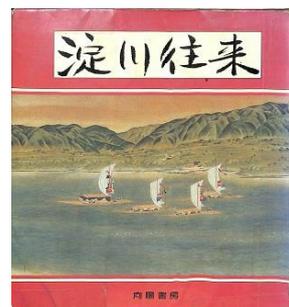
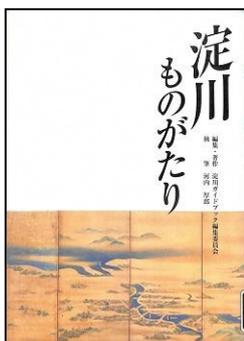
『河内名所図会』『東海道中膝栗毛』などの古典や伝説を引用しながら、淀川流域の文化、歴史を紹介します。

『淀川兩岸一覽 宇治川兩岸一覽』 あかつきせいおう 曉 晴翁：著 まつかわはんざん 松川半山：画 柳原書店：発行
1978年 (H216.3)

江戸時代に出版された名所案内の復刻版。当時の風景をおたのしみください。

『淀川百年史』 淀川百年史編集委員会：編 建設省近畿地方建設局：発行 1974年
(H517.216)

淀川其自然、明治時代以降の治水工事、琵琶湖総合開発計画、環境保全などについてその変遷をたどります。



『近世淀川の舟運』 日野 照正：著 枚方市：発行 1975年 (H216.3)

『淀川舟遊—若冲・応挙・蕪村も愛した』 摂南大学／大阪市立住まいのミュージアム：発行
2015年 (H291.63)

円山応挙の『淀川兩岸図』や伊藤若冲の『乗興舟』^{じょうきょうしゅう}などの絵巻や与謝蕪村の句を紹介しています。当時の人々の暮らしがうかがえます。

『東海道枚方宿と淀川』 中島 三佳：著・発行 2003年 (H216.3)

明治18年6月の洪水やくらわんか舟の成立についても記されています。

2. 淀川を旅する

『淀川』^{あづま} 東 秀三：著 編集工房ノア：発行 1989年 (H291.6)

『大阪 淀川探訪 —絵図でよみとく文化と景観』
西野由紀、鈴木康久：編 人文書院：発行 2011年 (H291.63)

『淀川兩岸一覽』に描かれた風景と同じ地点の今の風景を写真で比べています。
「川の街道」を大坂八軒家から大山崎までさかのぼっていきます。

『淀川絵巻—びわ湖から大阪湾まで』 木村きよし：著 保育社：発行 1988年(児童書 291)

宇宙衛星から撮影した淀川筋一帯の写真をもとに描かれています。各所の見どころを紹介していて、手書き文字に味があります。

『淀川かわあるき』 淀川ガイドブック編集委員会：編 読売連合広告社：発行
2008年 (H291.6)

淀川本川の宇治川・天ヶ瀬ダムから淀川河口までの区間と流域を10のエリアに分けて紹介しています。下流から上流へ、河川公園や史蹟、夕陽ポイントまで淀川の様々な姿を見ることができます。

『ひらり枚方 vol.15』 枚方文化観光協会：編/発行 2008年 (H291.6)
特集：解剖 淀川三十石船

『舟運と河川技術 琵琶湖・淀川舟運～近世から現代～』
国土交通省近畿地方整備局：編 国土交通省：発行 2004年 (H216.9)
近代の治水技術や淀川舟運についてまとめられています。

3. 淀川の自然・いきもの

『淀川の野草』 有馬忠雄：著 細川和昭：写真 (財)河川環境管理財団：発行 1999年
(H472.1)

『絶体絶命の淡水魚イタセンパラ—希少種と川の再生に向けて』

日本魚類学会自然保護委員会:編 東海大学出版会:発行 2011年(487.67)

『淀川のワンドに行ってみよう。』 「LOVE 遊—淀川」キャンペーン実行委員会:編

淀川工事事務所:発行 (H517.2)

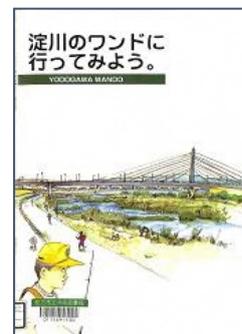
『鵜殿を遊ぶ—価値ある水辺を創る』

鵜殿ヨシ原研究所:発行 2012年(H519.8)

河川敷に分布しているヨシやそのほかの生き物たちの魅力がわかります。

『教材資料集「淀川」 改訂版』 大阪・淀川教材研究会:編著

2019年(H517.2)



小学校4年生以上向けにわかりやすく書かれています。

4. 治水工事

『日本の川を甦らせた技師デ・レイケ』 上林好之:著 草思社:発行 1999年(H517.2)

『デ・レーケ物語—流れを変えた男たち』

濱田うらら:原作 ふるさ都・夢づくり協議会:発行 1999年(H517.2)

明治6年に来日し、淀川改修と大阪港築港に尽力したデ・レーケの半生。

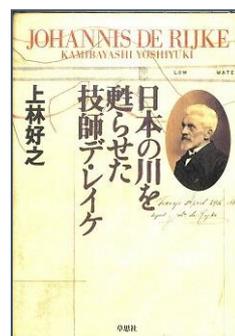
『沖野忠雄と明治改修』 松浦茂樹ほか:編 土木学会:発行 2010年(H517.21)

『淀川の治水翁—大橋房太郎伝』 小川清:著 東方出版:発行 2010年(H289.1材)

明治18年の淀川大水害の惨状を見た大橋房太郎は、治水に生涯をささげる決心をします。

むかしの洪水については、こちらもごらんください。

- ・枚方切れのはなし 坂 道夫
大阪春秋第68号 1992年 p.46-51
- ・大塚切れのはなし 坂 道夫
大阪春秋第50号 1987年 p.60-67
- ・明治十八年の淀川洪水と「鍵屋」 片山正彦
枚方市史年報 第19号 2017年 p.17-33
- ・朝日新聞記事集成 第一・二集 枚方市史編纂委員会:編 枚方市 1973年
明治12年~20年までの朝日新聞記事で枚方市に関する記事を抜粋して収録している。



5. 淀川をもっと楽しむ

[DVD]ここが知りたい枚方市 56 「淀川と枚方のつながりを探る」 2009年 (D318.5)

[DVD]ここが知りたい枚方市 118 「淀川の洪水の歴史をたどる」 2014年 (D318.5)

[CD]米朝珍品集：その七 東芝EMI 1999年 (C807.1カ)

落語「三十石夢の通路」が収録されています。

[CD]笑福亭仁鶴第二集：七度狐、三十石 テイチクエンタテイメント 2004年 (C807.1シ)

[CD]海の唄全曲集 日本コロムビア 1997年 (C801ウ)

この中に「淀川三十石舟唄」が入っています。

資料館のご案内



淀川資料館

館内には「くらしと淀川」「淀川の歴史」「淀川環境」の3つの常設展示コーナーと、テーマを決めて行う企画展示コーナーがあります。

京阪「枚方市駅」北口徒歩7分

開館時間 10:00～16:00

休館日 第3土曜、第3日曜、祝日、年末年始

電話 072-846-7131

<https://www-1.kkr.mlit.go.jp/yodogawa/shisetu/yodo-museum/about.html>

鍵屋資料館

資料館は、料理旅館であった「鍵屋」の建物を利用しています。江戸時代、「鍵屋」は淀川三十石船の「船待ち宿」としても繁盛しました。（鍵屋資料館ホームページより）

京阪「枚方公園駅」西へ徒歩5分

開館時間 9:30～17:00

（入館受付は16:30まで）

休館日 毎週火曜日、年末年始

電話 072-843-5128

<http://kagiya.hirakata-kanko.org/>

《お問合せ先》

枚方市立中央図書館 参考資料室

☎573-1159 枚方市車塚2丁目1-1

MAIL: toshokan5-1@city.hirakata.osaka.jp

TEL : 050-7105-8151

FAX : 050-7105-8152

「パスファインダー」とは、「道 (path)」を「見つける人 (finder)」という意味で、知りたいことを調べるのにどのように資料を探したらよいかを示す手引きのことです。